

あつき

農委だより

2020年
8月1日
第86号
編集・発行
厚木市農業委員会

夏来たりなば
秋遠からじ

まもなく暦の上では、立秋を迎えるが、まだまだ厳しい残暑が続きそうだ。

「冬来たりなば春遠からじ」という一節があるが、多くの農業者の間では「夏来たりなば秋遠からじ」の思いが強い。

長い間、愛情をもって育ててきた果樹が実を結び、秋、ようやく収穫を迎える。

いま、市内の農園では、おいしい果実の収穫に向け、着々と準備が進められている。(2・3回へ)

ナシの摘果作業を行う戸田の山崎健一さん



あつぎの秋を味わおう

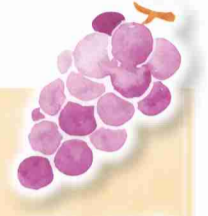
Autumn comes after summer

食欲の秋。ここ厚木にも、おいしい果実がいっぱいあることをご存じですか。リンゴ、ナシ、カキ、クリ、ブドウ…。それぞれの生産者が、愛情を込めて丁寧に育てています。どれをとっても、ほかの産地に負けない品ばかり。今回は、そうした生産者たちの素顔と取り組みをご紹介します。おいしくて安心、安全な厚木の果実をぜひ味わってみてください。



ブドウの成長を確認する柳下さん

戸田で21㍓の梨園を営む山崎健一さん(72)。昭和30年代に戸田地区ではナシ農家が増え、山崎さんのお宅でもナシ作りを始めました。出荷などの作業を協同行う組合ができたのもこのころです。当時は、長十郎、旭といった品種が主で、沿道に並ぶ直売所などで「厚木のナシ」として販売されてきました。「厚木の果物」といえば戸田のナシ」といわれるほど、ナシ栽培が盛んでした。現在は、定評のある幸水、豊水のほか、あきづき、秀玉、長寿といった複数の品種を栽培しています。山崎さんのこだわりは、2年に1度、牛ふん堆肥を大量に用いることに加え、特別配合された肥料を施すこと。これによって、糖度12度以上の甘いナシを育てることができま



ブドウの栽培方法を研究ハウスでの隔離栽培

長沼にお住まいの柳下浩幸さん(59)は、ご両親と共に露地で約40㍓、ハウスで約20㍓のブドウ栽培を行っています。市園芸協会で果樹部長を務める柳下さんは、20代のころから、国の農業構造改善事業に参加するなど、熱心に栽培技術を学んできました。ブドウ栽培の主流は露地栽培ですが、柳下さんは、ハウス内で布製プランターを使って育てる隔離栽培を08年に導入しました。この栽培方法は、試行錯誤を重ね、やっとたどり着いた方法。県内では初めて、全国的にも最先端をいくものでした。ブドウは、実の付き具合や枝の張り具合が、木の個性差により異なるため、成長の過程で栽培を断念しなければならぬこともあり

ます。そのようなとき、隔離栽培ならば、プランターごと入れ替えたり、移動したりすることができま



プランターに植えることにより、移動や撤去の負担が軽減できる

ます。そのようなとき、隔離栽培ならば、プランターごと入れ替えたり、移動したりすることができま

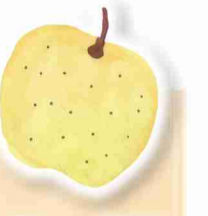
問 柳下園 ☎28-6348 長沼46番地

5月には摘果作業を行い、実が大きく始める6月には防虫・

真心を込めて育てたナシをぜひ皆さんに味わってもらいたい。収穫を心待ちに作業する手は優しく、その目はわが子を見るかのようです。山崎 ☎28-0657



実を選別して摘果作業を行う山崎さん



歴史あるナシ栽培の地で旬の味を楽しむ

防疫のため、一つ一つの実に袋掛けをします。早生のナシには白の袋を、中生、晩生のナシには茶色の袋を掛けま

戸田にお住まいの大貫義之助さん(86)は、93年の定年退職を機に、リンゴ、カキ、ナシ、ミカンなどの果樹栽培を始めました。大貫さんは、市内でも数少ないリンゴを栽培する農家の一人です。陽光、ぐんま名月、ジョナゴールドといった品種を育てています。大貫さんの農園を訪れると背の低いリンゴの木が整然と並んでいま



太陽の光を浴びて、収穫を待つリンゴ

実を残します。その後、リンゴが色付きやすくなるよう、一つ一つの状態を見ながら丁寧に袋掛けを行います。「こ」としては葉がきれいで、太陽の光をたくさん浴びていて実りがよい。今から収穫が楽しみです」と顔をほころばせま



リンゴ一つ一つに袋掛けをする大貫さん

※「わい化栽培」とは、接ぎ木した樹木の成長を抑える性質のあるわい性台木を用いて、木の高さを低く栽培する方法

大貫 ☎28-8393

岩崎昭重さん(88)が営む飯山栗園には、約1畝の農地に9品種、千本以上のクリの木が植えられています。クリの収穫期間は、通常1品種につき2週間程度ですが、岩崎さんの栗園では、収穫時期の異なる

理を任せられました。そこで「先祖代々引き継いできた農地を守りながら、みんなが楽しめる栗園を作ろう」と、徐々に面積を増やし、観光栗園としての整備を進めてきました。クリは成長が早く、植えてから

康の秘訣だね」と笑顔で語ります。皆さんも、栗拾いに訪れてみてはいかがでしょうか。飯山栗園 ☎24-1845 飯山5373番地



カキの摘果作業を行う高澤さん

愛甲で農業を営む高澤和雄さん(71)は、60年代まではシクラメンなどの花き栽培を中心に行っていました。その後、一般家庭で果物需要が高まったことから、徐々に果樹の栽培を増やしてきました。現在では、約1・8畝の広大な農地でカキ、ナシ、ミカンなどを栽培しています。特にカキは完全甘柿である太秋や早秋を中心に、30㍓の畑で15品種、約200本を

「桃栗三年柿八年」という言葉があるように、カキは収穫できるまで時間が掛かります。しかし、収穫期には1本の木から、200個から300個もの実が採れます。また、品種によっては、適切な管理をすることで、3世紀以上も実を付けてくれるそうです。冬場の休眠期はとも大切です。この時期に適切な有機肥料を与え、時間を掛けて丁寧に剪定を行います。良いカキを育てるためには、欠くことのできない作業です。また、年間を通じて、県農業技術センターやJAあつぎの助言、指導を仰ぎ、病害虫の発生に繊細な注意を払っ

問 たかざわふあさむ ☎28-1174 愛甲3002番地

全国農業新聞 毎週金曜日発行 月700円(送料込) お申し込みは農業委員会事務局へ



真心込めて育てたカキを召し上げられ

栽培しています。「桃栗三年柿八年」という言葉があるように、カキは収穫できるまで時間が掛かります。しかし、収穫期には1本の木から、200個から300個もの実が採れます。また、品種によっては、適切な管理をすることで、3世紀以上も実を付けてくれるそうです。冬場の休眠期はとも大切です。この時期に適切な有機肥料を与え、時間を掛けて丁寧に剪定を行います。良いカキを育てるためには、欠くことのできない作業です。また、年間を通じて、県農業技術センターやJAあつぎの助言、指導を仰ぎ、病害虫の発生に繊細な注意を払っ

3年ほどで実を付け始め、10年から15年ほどで収穫の最盛期を迎えます。その後、20年目ごろから徐々に収穫量が減少し、寿命を迎えます。このため、4月上旬には、どの品種を増やそうか悩みながら、100本もの接ぎ木をして栗園を守っています。その分、秋にたくさんの子どもたちが、楽しみながら栗拾いをしてる姿を見ると、喜びもひとしおだといま



クリの成長を優しく見守る岩崎さん

ています。こうして収穫されたカキは、ほかの果物や加工品と共に、妻の美代子さん(70)が営む直売所「たかざわふあさむ」に並びます。この直売所は、市内外からのお客さんで、にぎわっています。

市民農園で自ら土を耕す楽しみ

最近、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、新たな生活様式が求められています。屋外で密にならない農作業は、余暇の過ごし方の一つとして注目されています。



野菜作りを楽しむ小切間さん

山際にお住まいの小切間靖夫さん(80)は、三重県の農家の出身で、幼いころから両親の野菜作りを手伝ってききました。今度は自分の手で野菜を育ててみたいと思

い、自宅から徒歩5分ほどの距離にある市民農園を借りました。「自分の手で野菜を育てることは難しいけれど、それが楽しいんです」。いまは、トマト、キュウリ、オクラなどの夏野菜を栽培しています。

市が開設している市民農園は9カ所あり、多くの人が野菜作りに汗を流しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

問 農業政策課 ☎25-2800

新規就農者紹介 森永振一郎さん

3年前に就農した、厚木町にお住まいの森永振一郎さん(35)は、荻野地区と陸合地区で、71㊦の農地を耕作しています。

東京農業大学を卒業後、築地市場で11年間、農産物の仲卸し業に携わりました。退職後は、荻野にある義父の農地で基本的な栽培技術を身に付け、農業者の仲間入りしました。

作物は、ニンジンを中心にスイカ、ナス、キャベツなど。消費者に安心して食べてもらうため、日々研究しています。

仲卸し業の経験から、流通の重要性を実感していた森永さんは、



「喜ばれる野菜を作りたい」と話す森永さん

自ら大手のスーパーへ営業に回るなどして、独自の販路を作りあげました。「生産者の立場になってみると、天候の変化に適応する技術が必要だと実感しました。さらに研究して、お客さんに喜ばれる農産物を提供していきたい」と意欲を見せました。

新たな体験型市民農園がオープン

7月、上古沢に民設の体験型市民農園がオープンしました。

この農園は「竹林のいこい」と名付けられ、厚木農園が運営しています。一区画が6×7㊦と広く、ゆとりをもって野菜作りが楽しめます。現在、利用者を募集しています。詳しくは厚木農園(☎041-3315)へお問い合わせください。



「竹林のいこい」は全体で約50アールあり、ゆとりがもてる

編集手記

新型コロナウイルス感染症の影響はいまだに続いている。出掛けるときはマスクの着用が常識化し、「三密」を避け、人との距離を2㊦以上とするソーシャルディスタンスやテレワークといった「新しい生活様式」が社会に根付きつつある。

しかし、普段から50㊦四方に人がいない畑で、一人作業をしている身には、当たり前すぎてしっくりこない。たまに出掛けるとマスクを忘れて、家族に注意を受けることもある。

いま求められる「新しい生活様式」は、広い大地でのんびり自然を楽しむ、われわれ農業者が昔からやってきた、古くて新しい生活様式なのかもしれない。(M)

加入してよかった農業者年金

後々の自分のことを考え、農業者年金に加入してほしい。下荻野にお住まいの毛利克巳さん(85)は言います。

農業経営をする高齢者は、農作物の売り上げと国民年金の給付を受けて、生活することになります。そこに農業者年金が加わることで、生活にもゆとりが生まれます。

毛利さんは30代のころに、JAあつぎの勧めもあり、農業者年金に加入しました。

「若いころは、掛け金を払うのがちょっと大変でした。でも、いま思うと加入していて本当に良かった」と振り返ります。保険料の額は、一定の範囲で



「いつまでも野菜作りを楽しみたい」と毛利さん

設定ができ、見直しも可能です。毛利さんは「健康に生きることがとても大事なことです。それを支えてくれる農業者年金の力を借りて、これからも野菜作りを続けていきたい」と、力強く語ってくれました。

農業者年金の加入に関するお問い合わせは、農業委員会事務局またはJAあつぎまで。

国が支える 安心が大きくなる

担い手積立年金

- 1 農業に従事されている方は誰でも加入できます**
60歳未満の国民年金第1号被保険者(国民年金保険料納付免除者を除く)であって年60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も加入できます。
家族一人ひとりの年金を! 今、女性の新規加入者が増えています
- 2 保険料は自分で選べ、いつでも見直しできます**
自分が必要とする年金額に向けて、保険料を自由に決められ(月額2万~6万7千円の間で千円単位)、経営の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。
- 3 税制面で大きな優遇措置があります**
 - 支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税になります(支払った保険料の15%~30%程度が節税)。
 - 農業者年金基金が保険料を運用して得られる収益(保険料の運用益)は非課税です。
 - 将来受け取る農業者年金には、公的年金等控除が適用されます。(65歳以上の方は公的年金等の合計額が120万円までの場合は、全額控除できます。)

つまり入口から出口まで税制上の優遇措置があります

詳しくは 農業者年金基金 [検索 https://www.nounen.go.jp](https://www.nounen.go.jp)

厚木市からのお知らせ

Atsugi city Notice

農地パトロール強化月間の開始

8月と9月は農地パトロール強化月間です。市内全域の農地の利用状況を調査します。この調査の結果を農地の適正な利用や担い手への農地利用の集積・集約化の推進に生かしていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

問 農業委員会事務局 ☎225-2480

野焼きをする際はご注意ください

屋外焼却行為(野焼き)は、県条例によって禁止されています。農業に関連する軽微な焼却は、例外的に認められていますが、周辺的生活環境に配慮し、風向きや規模、時間帯などに気を付けて行ってください。

詳しくは、市ホームページ「屋外での焼却(野焼き等)について」をご覧ください。

問 生活環境課 ☎225-2752